

No.88

6月定例会号

平成29年7月25日

高浜市議会だより

# ぱいぶる

- P.2～3…………… 第2回臨時会、6月定例会議案審議、新編集委員紹介
- P.4 …………… 議案等に対する議員の態度
- P.5～9…………… 一般質問（市政のここが聞きたい）
- 裏表紙…………… 傍聴に行かなくても本会議が見られます、9月議会の予定



議会報告会を開催しました

いただいたアンケートのご意見等は、抜粋してホームページに掲載いたします。

編集 広報・広聴委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-52-1111 FAX 0566-52-1122

Eメール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/gikai/index.html>

## 第2回

# 臨時会

第2回臨時会が5月18日、会期1日の日程で開催されました。

主な内容は、議会人事で正副議長の辞職及び選挙。常任委員会、議会運営委員会、外郭団体等特別委員会、議会改革特別委員会及び公共施設あり方検討特別委員会の各委員の選任。衣浦衛生組合議会議員及び衣浦東部広域連合議会議員の選挙等を行いました。

議長には杉浦辰夫、副議長には柴田耕一が選任されました。

### 承認

#### 【承認第1号】

地方税法が平成29年3月31日に一部改正されたことに伴い、軽自動車税の賦課徴収の特例を設けるために、緊急に高浜市税条例の一部を改正したもの。

#### 【承認第2号】

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が平成29年3月29日に一部改正されたことに伴い、補償基礎額の扶養者加算額を改定するため、緊急に高浜市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正したもの。

### 同意

#### 【同意第3号】

議選監査委員の辞職に伴い、浅岡保夫を選任するもの。

## 6月定例会

# 議案審議

平成29年6月定例会が、6月9日から6月29日までの21日間の会期で開催されました。議案の概要は次のとおりです。

議案等の件名及び採決の結果は、4ページの「議案等に対する議員の態度」をご参照ください。

### 諮問・同意

#### 【諮問第1号】

人権擁護委員の榊原純一氏が平成29年9月30

日で任期満了となるので、再度推薦するもの。

#### 【同意第4号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、都築和子氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第5号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、内藤克弘氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第6号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、杉浦さよ子氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第7号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、川角満乗氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第8号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、荒川明人氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第9号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、伊藤詠子氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第10号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、神谷信夫氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第11号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、加藤芳美氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第12号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、川角陸広氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第13号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、杉浦巖氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第14号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、川角紀美氏を新たに任命するもの。

#### 【同意第15号】

農業委員会委員の平成29年7月19日の任期満了に伴い、三浦京子氏を新たに任命するもの。

### 議案

#### 【議案第36号】

高浜市情報公開審査会委員の定数を5人から6人に改めるためのもの。

#### 【議案第37号】・【議案第38号】

地方税法の一部改正に伴い、わがまち特例の割合を条例で定める等のほか、所要の規定の整備及び条文の整備を行うためのもの。

### 【議案第39号】

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の減額の対象となる所得基準を改定するためのもの。

### 【議案第40号】

高浜市地域婦人会連絡協議会が高浜市婦人の会に名称変更されたことに伴い、所要の規定の整備を行うためのもの。

### 【議案第41号】

子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴い、市立幼稚園の授業料の減免について、所要の規定の整備を行うためのもの。

## 補正予算

### 【議案第42号】

一般会計における歳入歳出予算の総額にそれぞれ658万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ140億3,358万9千円とするもの。

◎**収入**（主な増額要因）国庫支出金、県支出金 寄附金の増。（主な減額要因）基金繰入金の減。

◎**支出**（主な増額要因）児童福祉費、教育総務費の増。

### 【議案第43号】

介護保険事業勘定における歳入歳出予算の総額にそれぞれ20万円を追加し、歳入歳出それぞれ27億1,341万9千円とするもの。

◎**収入**（主な増額要因）国庫支出金、県支出金、他会計繰入金等の増。

◎**支出**（主な増額要因）包括的支援事業・任意事業費の増。

### 【議案第44号】

一般会計における歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3,425万円を追加し、歳入歳出それぞれ141億6,783万9千円とするもの。

◎**収入**（主な増額要因）調整財源として財政調整基金繰入金の増。

◎**支出**（主な増額要因）法人市民税の予定申告に係る還付金及び還付加算金と、港小学校空調機更新工事費の増。

## 陳 情

### 【陳情第4号】

#### □賛成意見

- ・住民の不安を解消し、理解をいただけるよう説明会を全住民対象に行うことを要望する。また、交通安全やギャンブル依存症対策、分裂した町内会等の仲介を求める。

#### □反対意見

- ・議会で取り扱っていく内容ではない。
- ・5月25日には蒲郡・常滑・半田市とも協定書を締結している。市議会として配慮を求め、地域に迷惑をかけないようにという趣旨の意見書を提出させていただいている。

### 【陳情第5号】

#### □反対意見

- ・低入札価格調査制度の導入や最低制限価格を設けるなど、対策を講じており、そういった傾向は見られない。
- ・単に地方交付税や国庫負担金、補助金を増やすのは、ますます国民の負担も増えるのではないか。また、経営努力をしている自治体には、インセンティブを与えるほうがよい。

### 【陳情第6号】

#### □賛成意見

- ・最低賃金で生活すると、1カ月の生活費にも不足する。また、道州制は、行政と住民との距離が離れ、住民の声が届かなくなる。

#### □反対意見

- ・最低賃金は、地域における労働者の生計や企業の支払い能力を総合的に判断して決められており、全国一律にすべきでない。
- ・道州制は、全国一律の国の施策を地域の実態に合ったものとするために必要と考える。



## 新 委 員 紹 介

今号から「ぴいぶる」の編集にあたるのが、写真の我々に変更になりました。一步ずつ、見やすい紙面を目指してまいります。よろしくお願いいたします。

- 前列左から ○神谷直子、◎柴田耕一、内藤とし子
- 後列左から 長谷川広昌、小嶋克文、黒川美克、幸前信雄

◎委員長 ○副委員長

第2回臨時会 議案等に対する各議員の態度		会派名	市政クラブ										公明党	共産党	市民クラブ	開拓志	高志クラブ		
種類/番号	件名	議員氏名	鈴木勝彦	北川広人	神谷直子	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田由紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	長谷川広昌	幸前信雄	
		結果	○ = 賛成・承認 ● = 反対																
承第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第3号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	

6月定例会 議案等に対する各議員の態度		会派名	市政クラブ										公明党	共産党	市民クラブ	開拓志	高志クラブ	
種類/番号	件名	議員氏名	鈴木勝彦	北川広人	神谷直子	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田由紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	長谷川広昌	幸前信雄
		結果	○ = 賛成 ● = 反対															
諮第1号	人権擁護委員の推薦について	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第4号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第5号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第6号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第7号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第8号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第9号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第10号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第11号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第12号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第13号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第14号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第15号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	高浜市情報公開条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	高浜市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	高浜市都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	高浜市立幼稚園授業料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号	平成29年度高浜市一般会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第43号	平成29年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第44号	平成29年度高浜市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第4号	ミニポートピア建設における不明点(問題点)についての陳情	不採択	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	
陳第5号	憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情	不採択	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	
陳第6号	憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情	不採択	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	
意第2号	ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 第2回臨時会、6月定例会において、杉浦辰夫議員は議長職のため、表決権はありません。



# 市政の ここが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。  
なお、掲載文は、議員本人作成の原稿です。



鈴木 勝彦 議員

### 吉岡市政 2期8年を振り返って

**問** 2期8年の成果は。

**答** 着任早々、着手したのが、約10年先に向けた市政運営の根幹となる「第6次高浜市総合計画」の策定であり、着実に進めることが責務であると一歩を踏み

出しました。

高浜市の将来を担う子どもたちを、学校教育だけでなく地域全体で支える仕組みづくりと、中学3年生までの医療費の無料化やこども発達センターの設置、産前・産後・子育て支援を全国に先駆けて実施し、合計特殊出生率は1.8と、全国平均1.46を大きく上回りました。

平成23年に「公共施設マネジメント白書」を策定。課題を先延ばしするのではなく、将来にわたり持続できるために、平成28年3月に「高浜市公共施設総合管理計画」を策定しました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整備していく「地域包括ケア」の実現に

向けた取り組み。市内における医療環境は全国平均から大幅に下回ることから、医療と介護が連携し、在宅生活を可能にするため、将来に向けて地域医療を充実させることが重要であることから、高浜分院の移転新築に向けて、豊田会と協議を進めています。

**問** 積み残した課題に対しての取り組みは。

**答** 高浜小学校等複合化施設が公共施設総合計画のモデル事業として始まり、世代を超えた交流の場としてつながりが生まれ、本来の機能を維持しながら、市民と児童にとって使いやすい施設にしていきたい。

子ども支援の充実では、平成31年4月より（仮称）高取こども園を整備して、待機児童ゼロに向けた取り組みを目指します。

災害に強いまちづくりでは、地域や企業との連携を図り、地域防災力の向上を図ります。

**問** 今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 住民ニーズを的確に把握し、地域の政策課題の着実で的確な政策の実施と、職員の政策能力の向上と実践力が重要となってきます。そのためにも引き続き、全力で3期目の市政運営に当たらせていただきたいと思います。



黒川 美克 議員

### 美術館について

**問** かわら美術館の現況について。

**答** 観覧者数は平成27年度43,455人、平成28年度35,084人。陶芸利用者は平成27年度7,199人、平成28年度4,301人。施設利用

状況は平成27年度697件、16,425人、平成28年度632件、17,046人。合計人数は平成27年度67,079人、平成28年度56,431人で、平成27年度の指定管理料は1億6,144万9千円、平成28年度1億600万円で、利用者1人当たりの金額は平成27年度が2,407円、平成28年度が1,878円です。

**問** かわら美術館の今後について。

**答** 中央公民館で開催していた文協祭を、今年度から美術館で開催することになり、「みんなで美術館」という目標実現に向け、昨年度が「気になる美術館」、今年度が「いっしょに楽しむ美術館」、来年度は「自ら生み出す美術館」、平成31年度は「高浜市の誇りになる美

術館」。指定管理最終年度の平成32年度は「市民とともに呼吸・成長する美術館」という目標を掲げて取り組んでいきます。

### いきいきクラブについて

**問** いきいきクラブの現況について。

**答** クラブの歴史は古く、昭和39年4月、高取地区に創設された老友会がその始まりで、当時は老人クラブという名称で活動され、平成17年1月から、現在の「いきいきクラブ」という名称に変更されました。連合会設立当初はクラブ数が10、会員数1千人程でしたが、現在のクラブ数は18で、会員数は1,418人です。

**問** いきいきクラブの今後について。

**答** 高齢者の皆さんが自宅にこもることなく街中へ出かけ、地域の皆さんと交流していただく仕掛けとして、高浜市では健康自生地の創出に力を注いでいる。たかはま健康チャレンジでは、健康づくり活動をはじめ、健康診査の受診や地域活動に参加していただくと、市内の入浴施設で利用できる優待券を差し上げている。議員の提案した入浴以外のインセンティブは、今後どういったものがよいか検討します。



杉浦 康憲 議員

### 保育園・幼稚園について

**問** 待機児童数の推移と現在の状況について。

**答** 平成27年4月1日は0人。平成28年4月1日は、1歳児4人。平成29年4月1日現在、1歳児と2歳児を合わせて17人です。

**問** 今後の保育園や幼稚園

の整備について。

**答** 高取幼稚園及び高取保育園の認定こども園化を、平成31年4月を目指して進めています。高浜幼稚園の認定こども園化を高浜小学校等整備事業のスケジュールと調整しながら、民営化を前提に検討しています。

### 教育行政について

**問** 未来を見据えて、学校教育では今後、子どもたちにどのような学力を身に付けさせたいと考えていますか。

**答** いつの時代も教育の目指すところは、子どもたちの生きる力を育むことにあります。生き

る力とは、確かな学力・豊かな心・健やかな体のことです。3要素をバランスよく育むためには、生活科や総合的学習が最も適していると考えます。当市では、この時間に高浜カリキュラムを編成し、各教科で得た知識や技能を生かし、様々な視点で考える力（思考力）や、人に分かりやすく伝えたり発表する力（表現力）、自ら深く掘り下げて学びたい力（探究心）、実際にやってみようと思う力（実践力）を育てています。

### ボートレースチケットショップ高浜について

**問** 運営協議会の組織の考え方と、立ち上げの予定時期について。

**答** 運営協議会は、施設運営と地域環境の保全のため、関係者による相互の連絡調整と対策の協議が目的です。立ち上げ時期は現時点で定まっていますが、施設完成は碧海総合研究所によると、警察との協議や国土交通省の認可等手続を含め、年度内を予定とのことです。会の役割や委員構成等の準備期間を考慮すると、開設時期を見据えて設置事業者や施行者、地元町内会等と準備を進めていく必要があると考えます。



北川 広人 議員

### 福祉行政について

**問** 刈谷豊田総合病院高浜分院の移転新築後は、病床142床と聞いているが、その機能と診療体制はどうなるのか。

**答** 一般病棟46人、療養病棟48人で開院し、もう1病棟48人分は、医療ニ

ーズや患者動向を踏まえ、若干時期をずらせて開設する。回復期の病床（一般病床）を持つことにより、急性期を経過した患者に対して、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを強化し提供する。さらに、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の充実を進め、分院内に居宅介護支援事業所を開設する。また、災害時における医療救護所の後方支援病院となる。

**問** 診療体制の中で、新たに血液透析、腹膜透析を実施するとあるが、外来の有無と病床数は。

**答** 透析業務の専門外来を実施する。病床は、142床とは別に30床を設置する。

**問** 市民が、住み慣れた地域の中で自分らしい

暮らしを人生の最後まで続けられるようにしていくことが重要である。協定書は、高浜市と医療法人豊田会が、市の目指すべき医療と介護の姿を共有し、パートナーシップを結ぶ証だと考える。この地域で、高浜市と医療法人豊田会がパートナーとして何をしていくのか、その目的を明確にし、協定書に示すべきと考えるが。

**答** 「地域包括ケアシステムの構築や実践」は、行政だけではできない。民間診療所や介護事業所の協力もいただき、特に病院機能については、高浜市とパートナーであり、共同経営者でもあると考える医療法人豊田会と、「地域そして市民の医療と介護を下支えする」という明確な目的をもって、協定書の締結へと進めていく。

**問** 「高浜版地域包括ケアシステムの構築と実践」を、市長として責任を持って進めていくという意気込みを聞かせていただきたい。

**答** 地域包括ケアシステムという概念から、医療を外すことはできない。医療法人豊田会との協定書は、訪問看護やベッド等を包括的に繋いで、「高浜版地域包括ケアシステムの構築と実践」を進めていく協定書であると思っている。これに、市長として責任をもって取り組んでいく。



小野田 由紀子 議員

### 教育行政について

**問** 小中学校における準要保護児童生徒の就学援助の具体的な内容は。

**答** 対象人数は、小学生263名。中学生は166名。支給額は、小学生総額1,523万4,884円。中学生総額1,492万3,101円。支

給時期は、基本的に7月、12月、3月。新入学児童生徒学用品費は、6月に支給している。

**問** 文部科学省は「要保護児童生徒援助費補助金要綱」を改正し、新入学児童生徒学用品費の単価を倍額に。支給対象者に新たに就学予定者を加え、支給時期も入学前にできるようになったが、なるべく早い時期に実施できるよう取り組んでいただきたい。

**答** 新入学児童生徒学用品費について、国の基準額に準拠し、小学校は4万600円に、中学校は4万7,400円に見直していきたい。支給の時期については、先行実施している自治体を参考にし、実施に向けて検討していきたい。

### 福祉行政について

**問** 国の「新たなセーフティネット制度」では、増加する空家・空室を住宅確保が困難な高齢者等の賃貸住宅として活用する新たな制度が盛り込まれているが、要介護状態になっても、単身になったとしても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる住まいの確保は、大変重要と考えるが、今後、高齢者の住まいについては、どのように取り組んでいけるのか。

**答** 本年の夏ごろ、市内の空家の正確な戸数を把握するため実態調査を行い、対策の基礎となる「空家等対策計画」の作成を進める。本調査は、空家等のデータベースを整理することを目的に、空家の判断基準として、郵便受けにチラシ等が大量に詰まっていないか。窓ガラスが割れていないか。玄関付近に草が生えて、人が出入りしているようすがないか等、実態確認する予定。調査結果は、今年度末に固まる予定で、これを参考に当市の空家の実態を把握し、今後、高齢者等の住まいについて検討していきたい。



神谷 利盛 議員

### 各種証明書の コンビニ交付について

**問** 平成31年3月までにマイナンバーを利用して、各種証明書の10%をコンビニで交付するという目標を立てているが、目標が達成できたら職員を減員するのか？

**答** 交付率が35%程度になれば削減する。マイナンバーの普及は経費削減にもつながるので、その普及にも継続して努めていきたい。

### 産業経済活性化事業について

**問** 過去3年間で、5社に対し約1億7千万円の補助金を出しているが、どのような効果があったと評価しているか？

**答** 愛知県より1/2の補助があるので、実質上、約8,500万円の補助。約220名の新規雇用、約3千万円の税収があった。対象企業には5年間のフォローアップ調査を行い、効果の検証を行っている。

### 地方創生推進交付金事業について

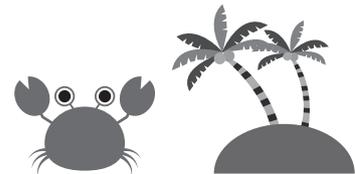
**問** 対象が、高浜高校生徒による「オリジナルたい焼き型」の製造・販売となっているが、何を狙っているのか？

**答** 高浜高校の生徒が、地域資源と交流して「まちづくり」・「ビジネス」を提案し、瓦産業と自動車産業を結びつけたのが、この「オリジナルたい焼き型」である。「ビジネス手法を用いた高校生の育成」が目指す姿で、今後も継続させる。

### 工業用地創出事業について

**問** 豊田町・小池町に計画されているが、市という立場で、10年間のスパンで見ると、その事業の採算性をどのように試算しているか？

**答** 豊田町では約4億7千万円、小池町では約7億5千万円の税収を見込んでいる。ほかに雇用の確保、地域の活性化も見込んでいる。



幸前 信雄 議員

### ①公共施設の取り壊しに関する費用、②保育園の待機児童対策、③放課後学校開放事業と、児童センターの解放事業について

**問** 市役所本庁舎取り壊しでアスベストの利用が確認されたが、どのような調査

で追加費用が発生したのか。

**答** 市として、内装の吹付材や耐熱材の飛散性アスベストは認識していたが、外壁等の非飛散性アスベストは認識しておらず、その前提で要求水準書等を作成していた結果、アスベスト処理による追加費用が発生することになった。

**問** 計画提案時に、追加費用が発生させないための対策は。

**答** 今回事例を反省材料に、今後の施設の大規模改修時や解体工事時には、外壁アスベストにも留意し、予算計上する必要があると考える。

**問** 全庁的に問題意識を共有化して改善につなげるか。

**答** 行政グループだけの問題ではなく、全庁共通の問題であり、会議等を通じて、他の公共施設についても情報の共有化を図っていきたい。

**問** ここ5年間の、4月1日時点及び年度途中での保育園の待機児童数と、幼稚園児数の推移は。

**答** 保育園は、平成27年度に2園が開園して年初待機児童が0人になったが、翌年から待機児童が出る状態であり、さらに転入や就労希望などで、年度途中に待機児童が増加傾向となった。幼稚園は定員割れで、入園率が6割を切る状態である。

**問** 保育園の待機児童対策は。

**答** 公立幼稚園等をこども園化する際に、3歳未満児の受入れの拡大を図ることを計画。高取幼稚園・高取保育園の民営化とこども園化は、平成31年4月を目指し、移管事業者選定を進めている。

**問** 吉浜に、児童クラブを新たに開設するに至った経緯は。

**答** 吉浜小・翼小学校区で、昨年も夏休み明けまで待機児童が残り、吉浜児童センターで、支援単位を1つ概ね20人に定員枠の拡大をした。



小嶋 克文 議員

### 教員の働き方改革 について

**問** 教員の長時間勤務が問題になっている。4月28日に文科省が公立小中学校の勤務実態調査を公表した。月80時間超の残業が2~6カ月連続で、脳・心疾患の発症との関連が強いといわ

れるが、本市の実態は。

**答** 平成28年度11月の調査で、小学校5校の調査対象正規教員158人中、時間外の在校時間が80時間超の人数は16人（約10%）。100時間超の人数は14人（約9%）。中学校2校では、88人中80時間超の人数は21人（約24%）。100時間超の人数は22人（25%）でした。

**問** 勤務時間削減にどのように取り組んでいるか。

**答** 全職員が19時に退校する日を週に1回、困難であれば月に1回程度設けるよう、市教委から依頼している。その他、会議の時間短縮、各種報告書の簡略化、校務支援システムの活用、

行事の精選や内容の変更などに取り組んでいる。

**問** 教員の長時間勤務の主要因が、部活動の担当です。今年の4月から従来の外部指導者とは別に、部活の顧問にも就くことができ、さらには大会等に単独で生徒を引率できる「部活動指導員」が創設されたが、導入の取り組みは。

**答** 保護者等への連絡、生徒指導に係る対応、事故が発生した場合の現場対応など、学校教育の一環として行なわれる部活動は、教員が行なうべき職務であり、この考えに立って、従来の外部指導者のさらなる充実を目指していきたい。

**問** 従来の外部指導者の導入状況は。

**答** 高浜中学校では6種目で9名、南中学校では3種目で5名、合計14名が活動されている。指導種目は、野球、陸上、バスケットボール、卓球、剣道、ソフトボールである。

**問** 愛知県は4月から、中学校は週2日、必ず部活動を休みとすることを義務付けましたが、市内の両中学校の取り組みは。

**答** 両中学校とも、月曜日と木曜日の帰り及び土日は、どちらか1日を休みとしている。また、生徒の健康面に配慮し、朝の部活を全面的に見直す方向で、両中学校と話し合っている。



内藤 とし子 議員

### 教育行政 (就学支援の拡充) について

**問** 就学援助の中に入学準備金があるが、入学準備金を入学前に前倒しして支給しなければ、父母負担が大きい。国も日本共産党の国会議員の追求「援助を必要

な時期に速やかな支給が行えるように、金額を増額の通知」も出しました。そこで、高浜市は、平成29年度はどうするのか。

**答** 単価は増額になり、平成29年度は6月支給になります。

**問** 平成29年度から年度当初に支給しても良いと通知が来ているのに、なぜ支給できないのか。

**答** 支給するために、該当家庭の前々年度の収入状況などを調査しなければなりません。

**問** 入学前の1日入学など、学校に来るチャンスもあるので、タイミングを計って入学準備金の必要な家庭を調査すればよいのでは。

**答** 通知の趣旨を考慮し、先行実施している自治体を参考に課題を整理し、実施に向けて検討したい。

### 高浜小学校等整備事業(建て替え)問題について

**問** 設計図を見ると、車両の出入口が1箇所である。200台の車両がイベントなどで出入りすることになるが、西側からが中心となっており、安全対策はどうするのか。

**答** 大きなイベントとして鬼みちまつりがあり、高浜小学校が拠点となっているが、道路が大渋滞する等の状況は発生しておらず、学校が関わる学芸会や演奏会は、これまでと同様、教職員を中心に誘導に当たり、車両の出入りや歩行者の安全確保に努めていく。

**問** 市民への説明会について、モデルとして建て替えを行うのであれば、特に市民向けに説明が必要になると考えるがどうか。

**答** 通学している保護者の皆さんの関心が高いと考え、保護者向けの説明会を数回設定し、市民の方にはシンポジウムを行いました。

# 議会に傍聴に行かなくても、本会議が見られます

- ①生中継で本会議の視聴ができます。
- ②録画中継でも、おおむね2週間後には、本会議の視聴ができます。
- ③生中継の本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。

下表の、9月定例会日程を参考に、ぜひご覧ください。

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をご覧になることができます。
- 録画中継は、生中継放送後、おおむね2週間以内に配信を予定しています。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずご覧ください。

## ■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

## ■スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

## ■スマートフォン用QRコード



**！**  
ご注意ください

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。  
※動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。  
※視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

## 9月定例会を傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の、年4回開催されます。  
開会時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問等で、市政全般にわたって論議が展開されます。  
ぜひ、一度傍聴にお越しください。

## 9月定例会の日程

月 日	曜	会議日程	付 議 事 項
9月19日	火	本会議 第1日目	開会、市長所信表明演説、議案上程、説明
9月21日	木	本会議 第2日目	一般質問
9月22日	金	本会議 第3日目	一般質問
9月25日	月	本会議 第4日目	総括質疑、決算特別委員会設置、議案委員会付託
9月26日	火	決算特別委員会	付託案件審査
9月27日	水	決算特別委員会	付託案件審査
9月29日	金	決算特別委員会	付託案件審査
10月 4日	水	総務建設委員会	付託案件審査
10月10日	火	福祉文教委員会	付託案件審査
10月11日	水	公共施設あり方検討特別委員会	付託案件審査
10月17日	火	本会議 第5日目	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

## 編集後記

今号から、新メンバーによる「びいふる」になります。1年間、3ページでお知らせしたメンバーとなりますが、よろしくお願いたします。

各地で大雨被害に関する報道があり、心よりお見舞い申し上げます。

この地域も、伊勢湾台風から60年近くが経過し、三河大地震からは70年以上過ぎています。自助・共助・公助、どれ一つ欠けてもいけません。みんなで本当に気をつけて「備えあれば憂いなし」でありたいと思います。